【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【公開番号】特開2011-11072(P2011-11072A)
【公開日】平成23年1月20日(2011.1.20)
【年通号数】公開・登録公報2011-003
【出願番号】特願2010-206543(P2010-206543)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２５Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成24年1月27日(2012.1.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技領域を形成する遊技盤と、
各々が識別可能な複数種類の識別情報の変動表示を行なって表示結果を導出表示する変動表示手段と、
始動領域に遊技球が入賞したことを条件として、前記変動表示手段の変動表示を開始させた後表示結果を導出表示させる変動表示制御手段と、
前記遊技盤に設けられ、遊技球が入賞可能な開放状態と遊技球が入賞不可能な閉鎖状態とのいずれかの状態に制御可能な可変入賞球装置とを備えた遊技機であって、
前記変動表示手段に予め定められた特定表示結果が導出表示されたときに遊技者にとって有利な特定遊技状態とする制御を実行する特定遊技状態制御手段と、
前記可変入賞球装置を前記開放状態に変化させる制御を行なう可変入賞球装置制御手段と、
前記可変入賞球装置に入賞した遊技球を検出する入賞検出手段と、
磁性材料からなり一端に接点部を有する一対の長尺のリードを有し、当該各リードの接点部を互いに対向させて配設してなり、前記リードに印加される磁界によって前記接点部が接触するリードスイッチと、
該リードスイッチの前記接点部が接触したことに基づいて、異常が発生した旨を報知する接触時異常発生報知手段とを備え、
前記可変入賞球装置制御手段は、前記特定遊技状態に制御されているときに、前記可変入賞球装置を前記開放状態に所定回変化させる制御を行ない、
前記可変入賞球装置を開放状態に変化させる制御が行なわれていないときに前記入賞検出手段により前記可変入賞球装置に入賞した遊技球が検出されたことに基づいて、異常が発生した旨を報知する可変入賞球装置異常発生報知手段をさらに備え、
前記可変入賞球装置異常発生報知手段は、前記変動表示手段が変動表示中においても前記異常が発生した旨を報知し、
前記リードスイッチは、前記リードの長手方向が遊技盤面に交差させて配置されていることを特徴とする、遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
（１）　遊技領域（遊技領域７）を形成する遊技盤（遊技盤６）と、
各々が識別可能な複数種類の識別情報の変動表示を行なって表示結果を導出表示する変動表示手段（特別図柄表示器８）と、
始動領域に遊技球が入賞したことを条件として、前記変動表示手段の変動表示を開始させた後表示結果を導出表示させる変動表示制御手段（図４８のＳ９４、図４９、図５０のＳ１３１）と、
前記遊技盤に設けられ、遊技球が入賞可能な開放状態と遊技球が入賞不可能な閉鎖状態とのいずれかの状態に制御可能な可変入賞球装置（可変入賞球装置２０）とを備えた遊技機（パチンコ遊技機１）であって、
前記変動表示手段に予め定められた特定表示結果が導出表示されたときに遊技者にとって有利な特定遊技状態とする制御を実行する特定遊技状態制御手段（停止時の特別図柄が大当り図柄（特定表示結果：具体的には、たとえば「３」、「７」）であると、大当り遊技状態のうちの第１大当り遊技状態（始動動作状態を経ずに開始される大当り遊技状態）に移行する。）と、
前記可変入賞球装置を前記開放状態に変化させる制御を行なう可変入賞球装置制御手段（図５９のＳ４７９、図６１のＳ４９５）と、
前記可変入賞球装置に入賞した遊技球を検出する入賞検出手段（第１役物入賞スイッチ７１ａ、第２役物入賞スイッチ７２ａ）と、
磁性材料（鉄、コバルト、ニッケル、ガドリニウムなど、強磁性体としての性質を利用してさまざまな機能を実現するために用いられる材料）からなり一端に接点部（接点部９５２ａ、９５３ａ）を有する一対の長尺のリード（第１のリード９５２、第２のリード９５３）を有し、当該各リードの接点部を互いに対向させて配設してなり（一対のリードの他端がそれぞれ外部に突出されてガラス管９５４により封入されている）、前記リードに印加される磁界によって前記接点部が接触するリードスイッチ（第３磁気センサ９５ｃ、図５（Ｂ））と、
該リードスイッチの前記接点部が接触したことに基づいて、異常が発生した旨を報知する接触時異常発生報知手段（図９９（Ｃ）、図１０１のステップＳ９２１７～Ｓ９２２０）とを備え、
前記可変入賞球装置制御手段は、前記特定遊技状態に制御されているときに、前記可変入賞球装置を前記開放状態に所定回変化させる制御を行ない、
前記可変入賞球装置を開放状態に変化させる制御が行なわれていないときに前記入賞検出手段により前記可変入賞球装置に入賞した遊技球が検出されたことに基づいて、異常が発生した旨を報知する可変入賞球装置異常発生報知手段（ステップＳ５９１～Ｓ５９９、ステップＳ９２７～Ｓ９３２）をさらに備え、
前記可変入賞球装置異常発生報知手段は、前記変動表示手段が変動表示中においても前記異常が発生した旨を報知し、
前記リードスイッチは、前記リードの長手方向（リードスイッチの軸、図５（Ｂ）の点線Ａ参照）が遊技盤面に交差させて配置（一のリードが他のリードよりも遊技盤に直交する方向に位置をずらして配置）されている（図５参照）。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】削除
【補正の内容】